

(コーポレートガバナンス)

JR東日本 グループの企業統治は大丈夫!?

今年に入って山手線・京浜東北線田町駅、常磐線上野駅、宇都宮線での停電事故が連続して安全安定輸送を揺るがす重大なトラブルとなり、お客さまからの「信頼」を損なう事態となっています。さらには、白岡駅ITV支柱倒壊、新潟貨物ターミナル駅構内軌陸車衝突など繰り返し事象も後を絶ちません。



グループ会社での「人件費の不正請求」 北海道新幹線工事では「組織的談合」!?

昨年5月、ジェイアール東日本企画での「人件費の不正請求」が発覚。その後も不正等が相次ぎ、5月19日には北海道新幹線レール敷設工事で「組織的談合」、5月26日にはJR東日本びゅうツーリズム&セールスの旅行業法違反が報道されました。

今年報道された主な不正・違反

- 1/26 JR東日本商事・JR東日本企画の不正受給
- 2/11 アスベスト含有製品売却で書類送検
- 3/29 法務担当者の法廷での無断録音
- 5/19 北海道新幹線線路敷設工事での談合(仙建工業・他)
- 5/26 JR東日本びゅうツーリズム&セールス旅行業法違反



今年3月に、「グループ全体のガバナンスの改善と強化に向けた有識者委員会報告書」を受けた改善策が公表されグループ会社を含め勉強会などが行われています。その直後の「組織的談合」や「旅行業法違反」の報道に、現場のJR東日本グループ社員は「何をやっているのか!」と嘆いています。

社会から信頼を得るJR東日本グループとするには
「風通しのよい職場」作りと
「労働組合のチェック機能強化」が必要